

## 阿蘇山

### 火山活動度レベル

火山活動度レベルは、2 (やや活発な火山活動) でした。

### 概 況

中岳第一火口では、湯だまり内で高さ 5 m 程度の小規模な土砂噴出や噴湯現象が継続しています。湯だまりの量は、3 月 16 日から約 3 割で推移していましたが、15～17 日の降雨により 18 日には約 4 割に増加しているのを確認しました。

孤立型微動の日回数は、100 回前後とやや多い状態で推移しました。また、火山性連続微動は断続的に発生し、13 日 04 時 55 分以降継続しています。

### 噴煙活動の状況

噴煙は白色・少量で、噴煙高度の最高は 400m (4 月 : 500m) で特に異常は認められませんでした(図 1、図 2)。

### 地震・微動活動の状況

孤立型微動の日回数は、100 回前後とやや多い状態で推移し、月合計は 2,713 回(4 月 : 2,724 回) でした(図 1、図 2)。また、火山性連続微動は断続的に発生し、13 日 04 時 55 分以降継続しています(図 4)。

A 型地震の月合計は 16 回(4 月 : 25 回) と少ない状態でした(図 1、図 2)。B 型地震の月合計は 37 回(4 月 : 4 回) と増加しました(図 1、図 2)。地震の震源は中岳第一火口付近と中岳の北約 5 km の 2 ヶ所です(図 3)。

### 火口や噴気地帯の状況

中岳第一火口の湯だまりの量は、3 月 16 日から約 3 割で推移していましたが、15～17 日の降雨(192 ミリ)の流れ込みにより 18 日には約 4 割に増加しているのを確認しました。湯だまりの色は灰色で、中央部付近では高さ 5 m 程度の土砂噴出が継続しており、その他の箇所でも高さ 2～3 m 程度の土砂噴出が多数発生しています。

湯だまりの表面温度は 70 以上(最高 78 (7 日))で、南側火口壁下の温度も最高で 429 (7 日) と高い状態が続いています(図 1)。

(温度測定は、赤外放射温度計による)

### 地殻変動活動の状況

GPS による地殻変動観測では、草千里 - 砂千里浜、草千里 - 仙酔峡、砂千里浜 - 仙酔峡の各観測点間の基線長には、火山活動に起因する変化はありませんでした(図 5)。

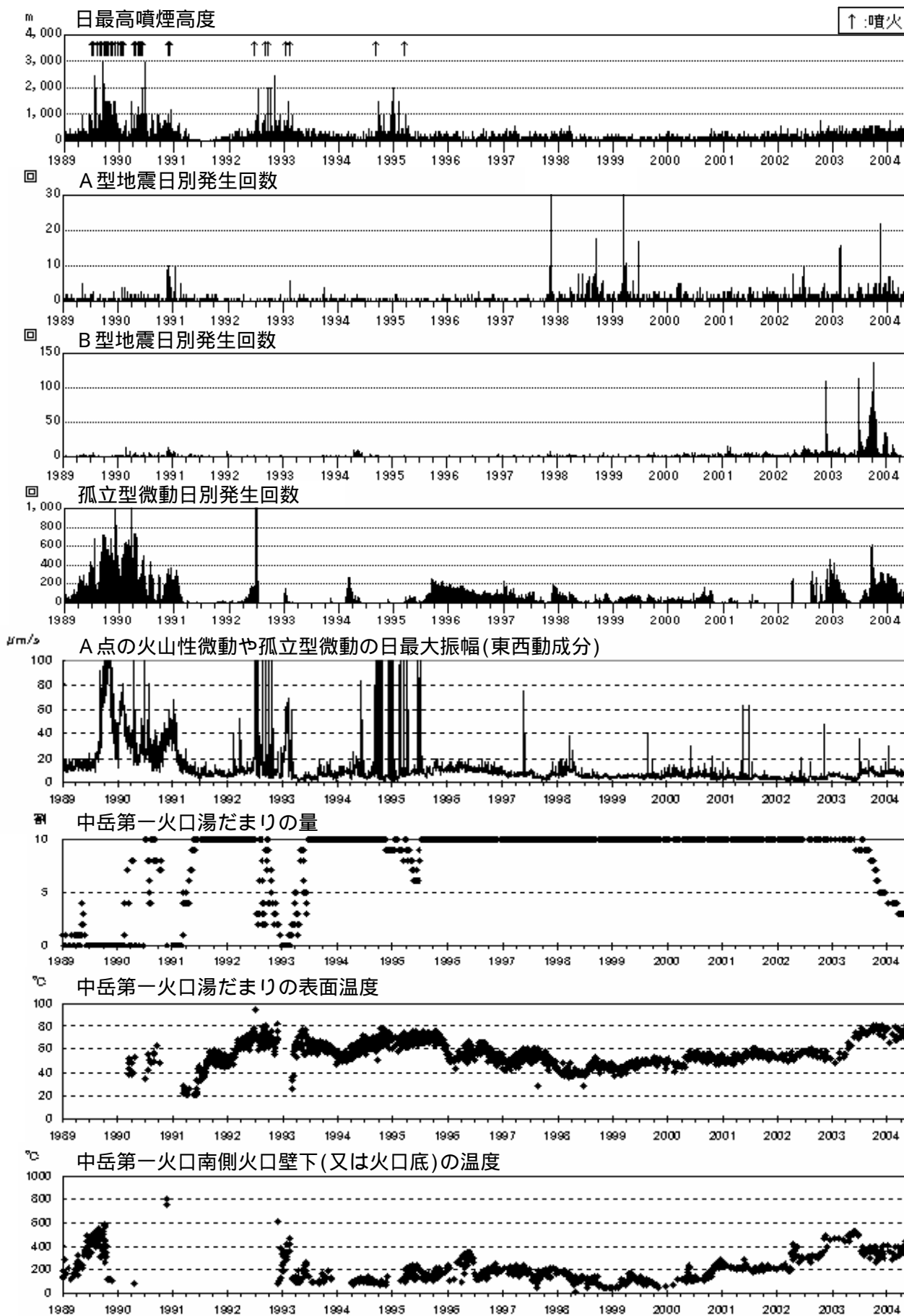


図1 火山活動経過図(1989年1月1日~2004年5月31日)

阿蘇山

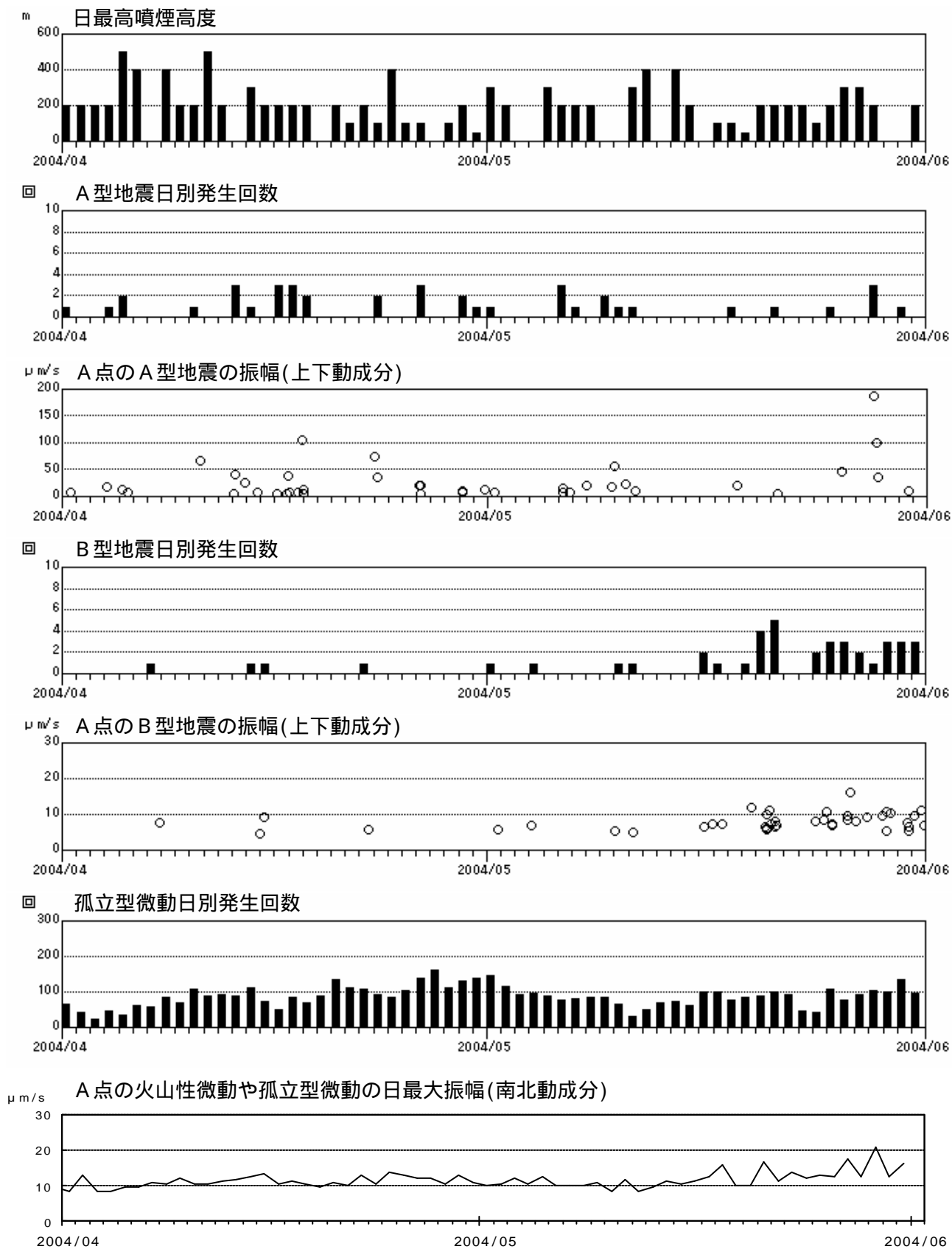


図2 火山活動経過図(2004年4月1日～5月31日)

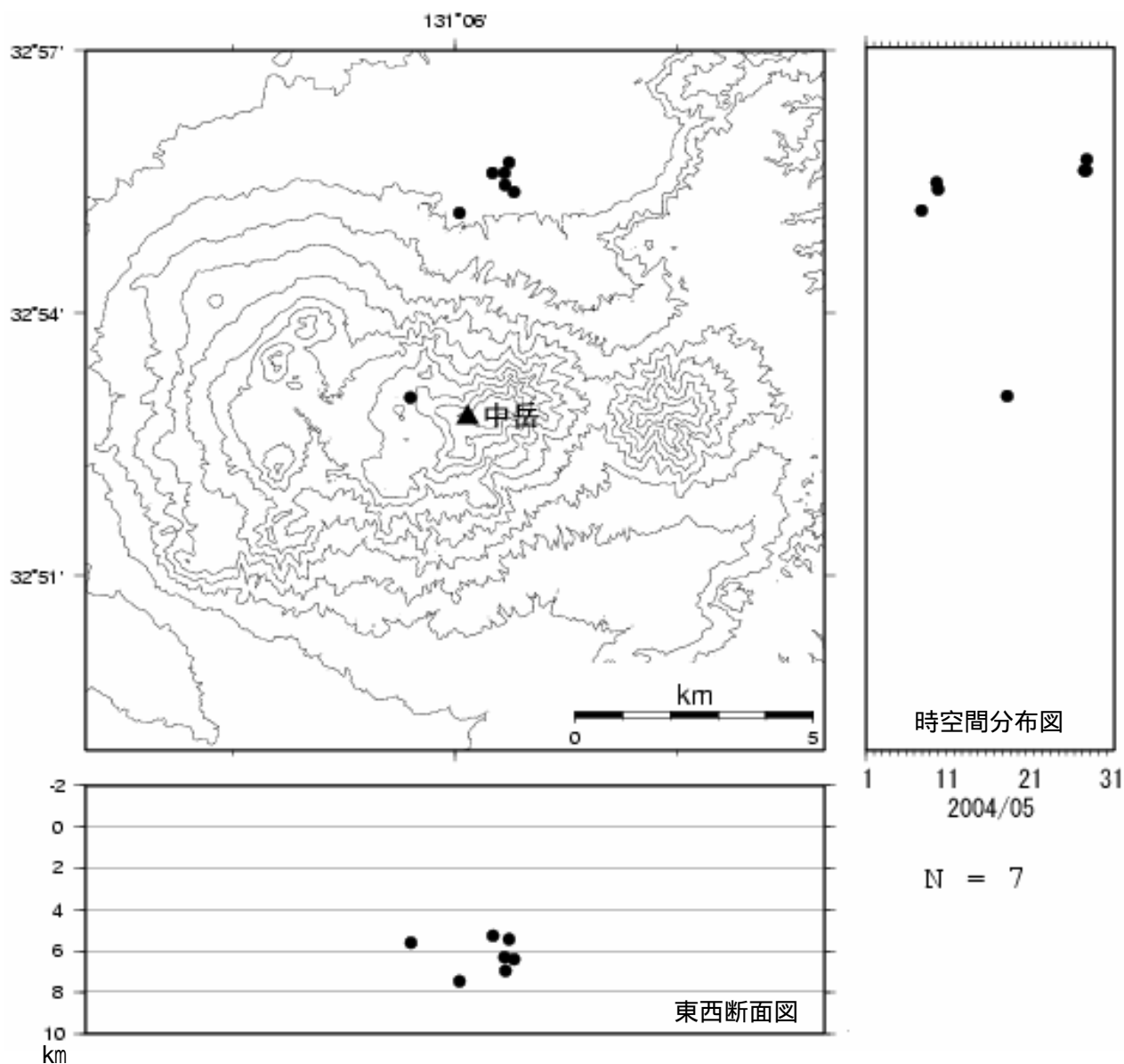


図3 火山性地震の震源分布図(2004年5月1日~31日)  
 震央分布図(左上)、時空間分布図(右上)、東西断面図(下)  
 本資料は、独立行政法人防災科学技術研究所、京都大学、気象庁のデータを用いて作成している。

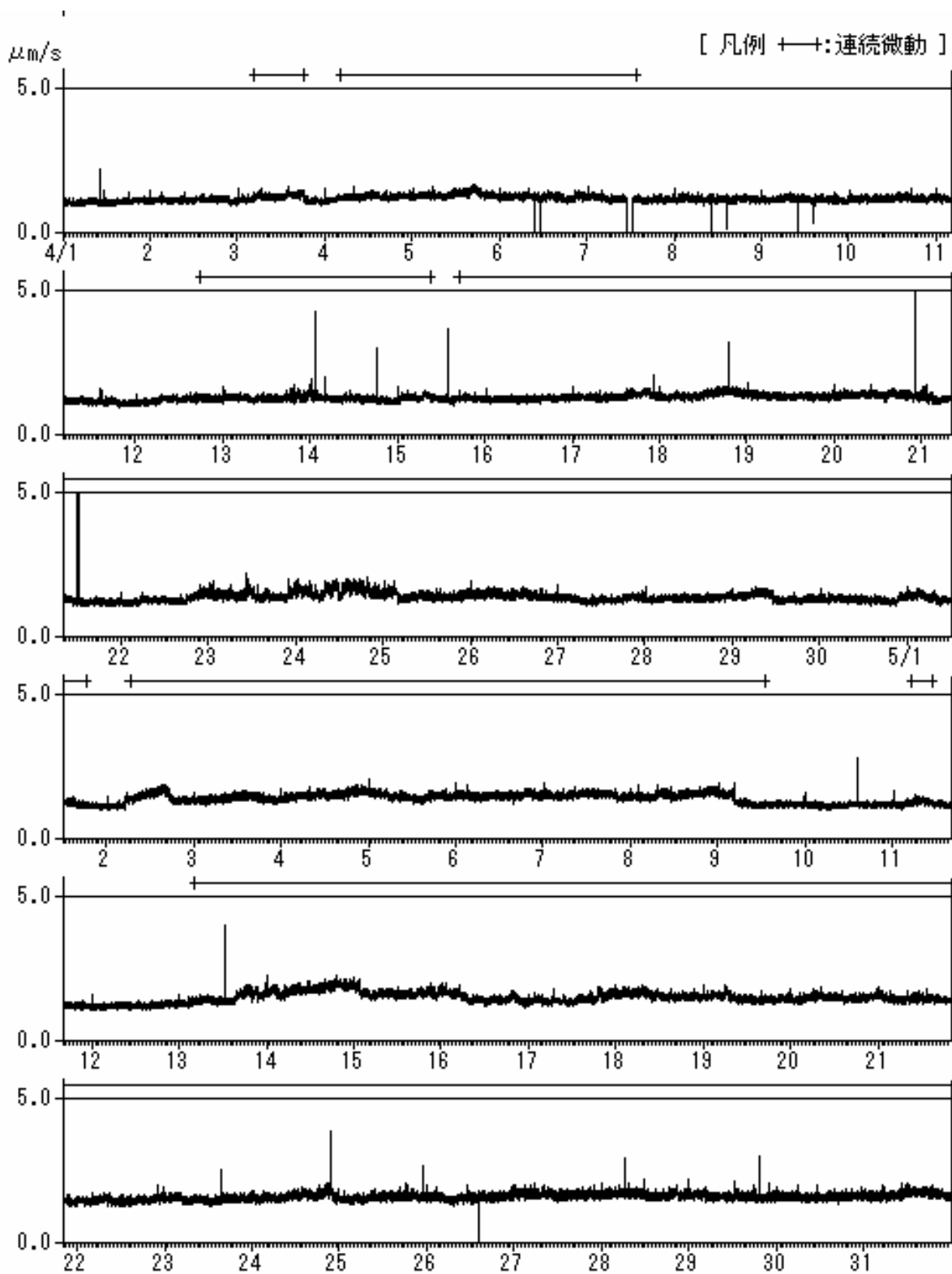


図4 1分間平均振幅の時間変化(A点南北動成分)  
2004年4月1日～5月31日

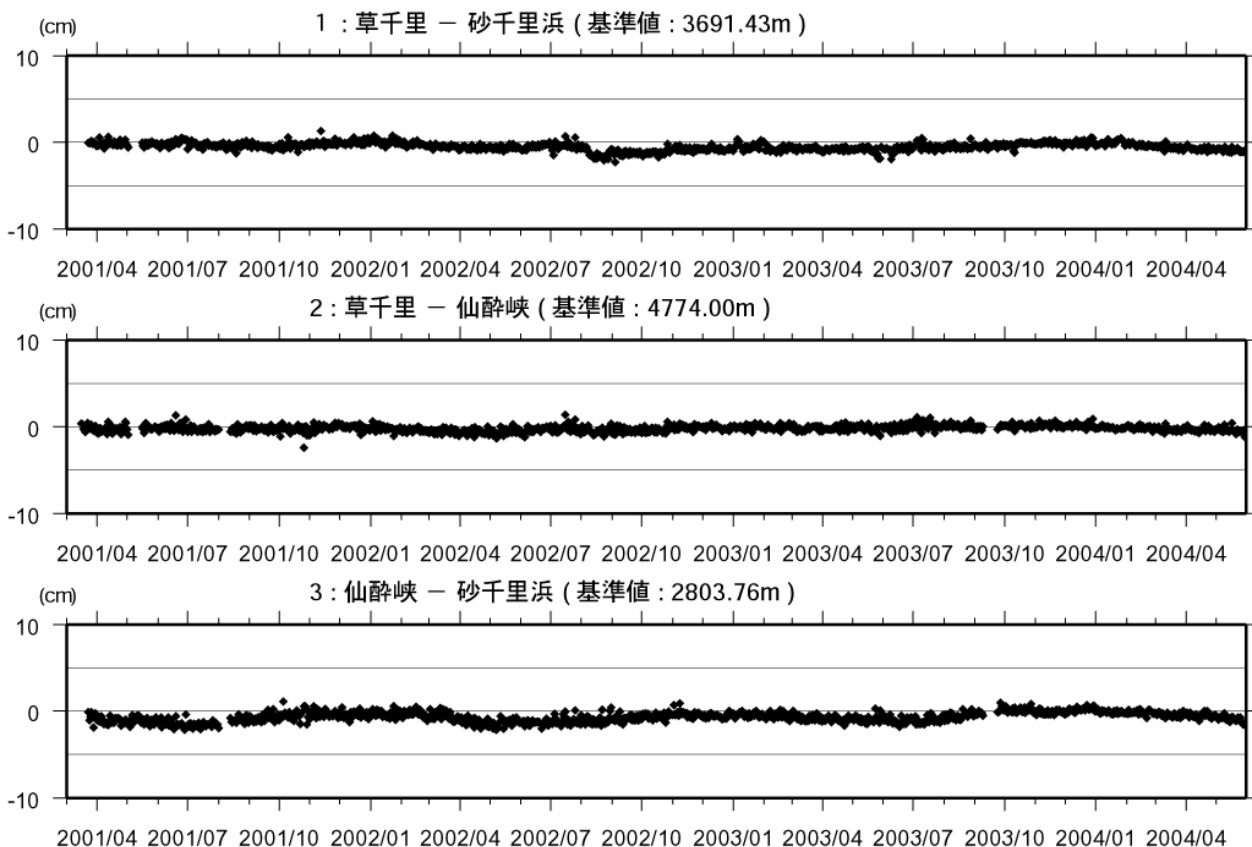


図5 GPS観測による基線長変化(2001年3月15日~2004年5月31日)

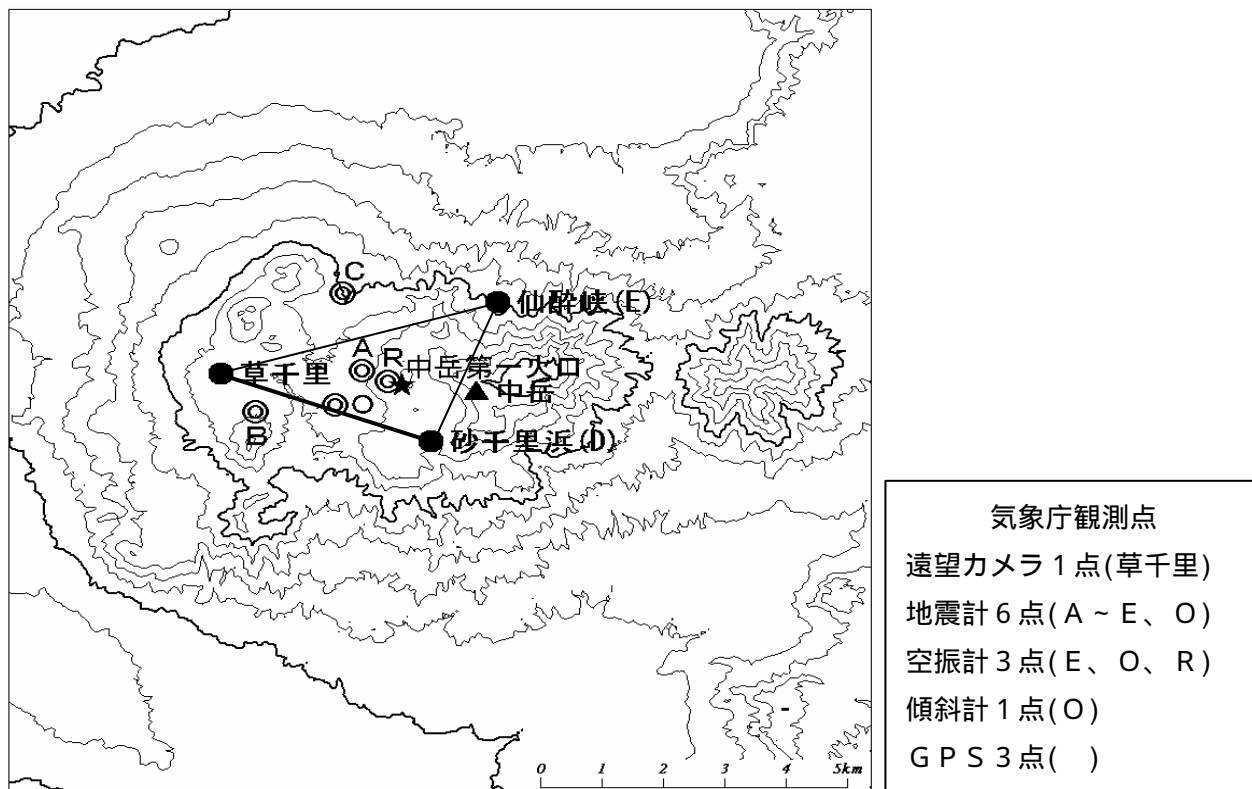


図6 観測点位置図